就職氷河期世代の職場実習・体験参加奨励金交付要綱

令和3年4月1日 市長決裁

(目的)

第1条 この要綱は、不本意ながら不安定な仕事に就いているなど、さまざまな課題に直面している就職氷河期世代の方が業種・職種に対する理解を深めていただくことを目的に、ハローワークが取り組む就職氷河期世代職場実習・体験及び熊本市が実施する就職氷河期世代へのキャリア支援（講座等）に参加する者に対し、予算の範囲内において奨励金を交付することに関し、必要な事項を定めるものとする。

(奨励金対象者)

第2条 奨励金の交付の対象となる者（以下「助成対象者」）は、就職氷河期世代（概ね35歳以上55歳未満）であって次のいずれかに該当する者とする。

- (1) 正社員での就職を希望しているものの非正規雇用などの不安定な就労状態にある熊本市内居住者
- (2) 企業での就業経験等が不足している状況にある熊本市内居住者
- (3) 離職から期間が経過している熊本市内居住者

(奨励金の対象となる取組)

第3条 奨励金の対象となる取組みは、ハローワークが取り組む就職氷河期世代の職場実習・体験及び熊本市が実施する就職氷河期世代へのキャリア支援（講座等）に参加する取組とする。

(奨励金額)

第4条 奨励金対象者が前条に掲げる取組みを実施した場合に、次の各号に掲げる区分に応じ、当該各号に定める方法により算出した額を奨励金額とする。

- (1) 日額 1日ごとの参加総時間数（分単位は切り捨て）に800円を乗じた額。
- (2) 総額 日額ごとに算出した金額の合計額。

2 前項の規定にかかわらず、奨励金対象者への支給上限額は日額上限額が5千円、一年度の期間における総額上限額は7万円とする。

(奨励金支給申請兼実績報告)

第5条 奨励金の交付を受けようとする奨励金対象者は、職場実習・体験の取組が終了した日から3カ月以内又は3月31日のいずれか早い日までに、就職氷河期世代の職場実習・体験参加奨励金交付申請兼実績報告書（様式第1号）を市長に提出することとする。

2 前項の報告書には、次に掲げる書類を添付するものとする。

- (1) ハローワークが取り組む就職氷河期世代の職場実習・体験及び熊本市が実施する就職氷河期世代へのキャリア支援（講座等）参加証明書(様式第2号)
- (2) 居住地が確認できる公的証明書又は公共料金の領収書の写し等

(奨励金の交付決定兼交付確定)

第6条 市長は、前項の規定による書類を受理したときは、その内容を審査し、交付が適当と認めるときは交付額を確定のうえ就職氷河期世代の職場実習・体験参加奨励金交付決定兼交付確定通知書(様式第3号)により通知し、奨励金を交付しないことを決定した場合は就職氷河期世代の職場実習・体験参加奨励金不交付決定通知書(様式第4号)によりこれを通知するものとする。

(支給決定の取消し)

第7条 市長は、虚偽等その他不正な行為により助成金の支給を受けたときその他市長が不適当と認めるときは、助成金の支給の決定の全部又は一部を取り消すことができることとする。

(返還)

第8条 市長は、前条の規定に該当するときは、その者に対し、支給した額の全部又は一部の返還を求めることとする。

(雑則)

第9条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は別に定める。

附 則

この要綱は、令和3年4月1日から施行する。